

(秘 外 部)

海軍公報

第一千六百十號

大正七年一月十九日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第八五號
大正六年官房機密第一九一號中「常磐」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

滿 州

大正七年一月十六日

海軍大臣 加藤 友三郎

參照 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍戰時給與規則第六條ノ増修支給ノ件ナリ

○通 牒

官房第一九〇號

大正七年一月十九日

海軍省副官 小林 躋造

各廳長殿

信書檢閱ニ關スル件

晚香坡郵便局ハ豫テ同港經由日本竝合衆國及南米諸國間往復郵便物ヲ檢開致居候趣ノ處今般内密ニ知り得タルトコロニ依レハ封筒表面ニ大公使館、領事館又ハ我

海軍公報第一千六百十號 大正七年一月十九日

海陸軍ノ文字印刷セラレ一見公用ナルモノトモ明ナルモノニ對シテハ全然開封スルコトヲ爲ササルモ其ノ他ニ在リテハ書留ニテモ開封シ現ニ此ノ程在紐育某武官ノ書信モ開封セラレタルコトアル由ニ有之候條今後同港經由ノ書信ノ封筒書方ニ付テハ相當注意相成機可然御示達置相成度
右通牒ス

○艦 船 所 在

▲印ハ「ハホ」ノ指定ヲ要セス

○一月十九日午前十時調

横須賀 ▲山口城 ▲河内、口金剛 ▲榛名、生駒、周防 ▲橋立、津輕 ▲武藏 ▲千早 ▲若宮 ▲時津風、天津風、磯風、濱風、巨桐、樺、巨如月、初霜、神風、響 ▲巨白露、夕暮、夕立、三日月、巨曙、夕霧、叢雲、陽炎、朧、巨山風 ▲海風 ▲櫻 ▲橘 ▲浦風、江風、不知火 ▲薄雲 ▲巨潜一三、潜一、潜二、巨鷗、雄、鴻、白鷺、高崎、栗橋丸、長浦丸 ▲凌 ▲巨吹雪 ▲有明 ▲大 吳 ▲伊勢 ▲扶桑 ▲安藝、攝津、鞍馬 ▲伊吹 ▲平戸、明石 ▲大和、嚴島、巨潮、子日、若葉、

0742

朝風、巳卯月、菊月、水無月、長月、巳追風、疾風、彌生、夕風、ト韓崎、駒橋、巳潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、巳潜一〇、潜一一、潜一二、巳潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、膠州、椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸

別府 富士

高濱 巳水七〇、水六七、水六八、水七一

佐世保 霧島、敷島、肥前、比叡、利根、千歲、沖島、最上、嵯峨、巳野分、松風、白雪、霞、巳燕、蒼鷹、雁、鶴、巳鶉、鷲、雲雀、鶴、猿橋丸

西戸 關東

長崎 日向

舞鶴 鹿島、巳香取、薩摩、ト吾妻、ト阿蘇、三笠、日進、新高、見島、巳千鳥、真鶴、鶴、隼、巳水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

鎮海 巳磐手、淺間、巳朝霧、村雨

馬公 巳白雲、朝潮

打狗 勞山

旅順 巳浦波、磯波、綾波、白銀丸

南洋群島 勝力

浦鹽斯德 巳石見、朝日、青島

上海 巳千代田

下関 網田

漢口 伏見

重慶 鳥羽

汕頭 秋津洲

ラファン 志自岐

馬尼刺 筑摩

新嘉坡 淀

彼南 巳初春

古倫母 春風

ウラー角 須磨、初雪

モルタ 對馬

ピロアス 巳八雲、春日、滿州

馬耳塞 巳出雲、巳松、杉、柏

梅、楠

航海中

常磐(八日「ホノルル」發)

時雨(九日新嘉坡發「尋堆」)

矢矧(十二日「フリースマン」發「パンカ」海峽)

松江(十五日「トラック」發内地)

劍崎(十六日橫須賀發吳)

巳桂、楓(十六日坡西土發「タラント」)

桃、柳(十六日「タラント」發「アレキサンドリア」)

巳檜、櫻(十六日「モルタ」發馬耳塞)

宇治(十八日南京發)

(終)

0743

海軍公報

第千六百十一號

海軍大臣官房

大正七年一月二十一日

通牒

官房第二〇三號

軍艦滿洲ト内地郵便局間ニ郵便物閉塞交換開始相成候
條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成度

大正七年一月二十一日

海軍省副官 小林 隣造

記

- 一、信書肩書ハ長崎郵便局氣付トスルコト
- 一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト
- 一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

經船第六三號

大正七年一月二十一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

運送船(碎氷船)上川丸傭入ニ關シ決裁シ經テ左ノ通契
約締結セリ

運送船(碎氷船)傭入契約書

海軍公報第千六百十一號 大正七年一月二十一日

0744

海軍省經理局長志佐勝ハ運送船(碎氷船)トシテ汽船上
川丸載貨重量一、三九二噸傭入契約ヲ日本郵船株式會
社長近藤廉平トノ間ニ締結スルコト左ノ如シ

第一條 汽船上川丸ハ大正七年一月九日迄ニ小樽港
ニ於テ積荷悉皆陸揚ヲ終リ炭水滿載航海準備ヲ整ヘ
北道滿洲ニ向ケ出航ノ日ヨリ使用スヘキニ付出發ノ時
ハ其ノ旨ヲ海軍省經理局ニ報告シ海軍指揮官ノ指揮
ヲ受クヘシ

第二條 汽船上川丸傭入中ハ海軍ニ於テ任意ニ之ヲ使
用シ而シテ其ノ進退物品ノ積載卸下ハ總テ監督官ノ
指揮ヲ受クヘシ

第三條 汽船上川丸ノ使用期限ハ豫メ定メ難シト雖其
ノ日數ヲ計算スルハ第一條ニ依リ初メテ使用シタル
日ヨリ海軍ノ役務ヲ終ヘタル日ヲ以テ限トシ其ノ間
左ノ割合ヲ以テ使用料ヲ仕拂フヘシ

壹箇月ノ使用料載貨重量噸數壹噸ニ付金貳拾九圓
但シ滿日數ハ其ノ月ノ現日數ニ依リ計算ス

第四條 前條使用料ノ外汽船上川丸航海用石炭用水及
ヒ海軍ヨリ乘組タル人員ノ食物ハ現品又ハ代價ヲ以
テ支給シ又特ニ命シテ別段ノ裝置ヲ爲シ若ハ解船及
ヒ火夫ヲ使用シタルトキハ其ノ費用ハ仕拂フヘシト

雖其ノ他ノ諸費ハ總テ使用料ニ含有スレモトス

但シ本文ノ石炭代價ハ監督官ノ證明ヲ得テ届出タル搭載數量ニ應ジ實費ヲ以テ仕拂ヒ現食物ノ代價ハ供食數ニ應ジ各自ヨリ之ヲ仕拂フヘシ

第五條 特ニ海軍ニ於テ修理改造ヲ要シ若ハ海軍ニ於テ本船使用中受ケタル損害ニ對シ修理ヲ要スル場合ハ海軍ニ於テ之ヲ負擔ス

使用上自然ノ破損ニ依リ若ハ船員ノ故意若ハ過失ニ依リテ生シタル損害ニ對シ修理改造ヲ要スル場合ハ船主ニ於テ負擔スヘシ

第六條 船主ノ負擔ニ屬スル修理工事ノ爲海軍工廠ニ於テ入渠スルトキハ船主ニ於テ之カ工費材料費ノミヲ支辨スヘシ此ノ場合ニ於テハ入渠料ヲ免除ス

第七條 汽船上川丸傭入期間ニ於テ船員ノ故意若ハ過失ニ依リ破損ヲ來シ修理ノ爲使用シ能ハサルコト十日間以上ニ及フトキハ十日間後ハ使用料ヲ仕拂ハサルモノトス

第八條 汽船上川丸使用中戰時非常ニ際會シ敵兵又ハ暴徒ノ襲撃ヲ受ケ若ハ測量未済ノ場所ニ航海セシメタル等ニ依リ損害ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ查明シ相當ノ償金ヲ仕拂フヘシ然レトモ船員ノ故意若ハ過失ニ依リ生シタル損害ハ此ノ限ニアラス

第九條 船長以下運轉手機關手等ノ要務ニ當ル者ハ使備ニ熟練シタル者ヲ要ス而シテ船員ハ外國人ノ在乘スルヲ許サズ又許可ヲ得ルニ非サレハ固有定員ヲ減

スルコトヲ得ス

第十條 船長ハ本船固有ノ定員調書及ヒ現員名簿ヲ調製シ本船ノ監督官ヲ經テ海軍省經理局長ニ差出スヘシ爾後現員ニ乘退船死亡轉職等ノ異動アルトキハ其ノ都度監督官ヲ經テ之ヲ經理局長ニ届出ヘシ監督官缺員アルトキハ船長ヨリ直接ニ經理局長ニ差出シ又ハ届出ヘシ

第十一條 本船使用ノ爲特ニ船舶固有定員ヲ増加スルコトアルモ其ノ人數少許ナルトキハ船主ニ於テ之カ費用ヲ負擔スヘシ若シ多數ノ増員ヲ要スルトキハ別ニ協定ス

第十二條 船主本契約ノ履行ヲ全クセザルトキハ海軍省經理局長ハ直ニ本契約ノ全部ヲ解除ス

第十三條 第三條ノ使用料及第四條ノ石炭代價ハ其ノ月分ヲ翌月以後ニ於テ代價請求書受領後十五日以内(關係書類不完全ニシテ訂正ヲ要スルモノハ其ノ訂正済ノ日ヨリ起算スルモノトス)ニ海軍省經理局長ニ於テ仕拂フモノトス

右契約ノ確實ヲ證スル爲證書二本ヲ作り當事者各自署名捺印シ各一本ヲ保有スルモノナリ

大正七年一月九日

海軍省經理局長 志 佐 勝

日本郵船株式 近藤 廉平

○艦船所在 ▲印ハハカノ指定ヲ要セス

○艦船所在

▲印ハハカノ指定ヲ要セス

0745

○二月二十一日午前十時訓

【横須賀】 日山城、日河内、日金剛、榛名、生駒、

【時津風】 天津風、磯風、濱風、日桐、樺、夕暮、

【山風】 海風、櫻、橘、浦風、江風、不知火、

【霧雲】 日潜一三、潜一、潜二、日鷗、雉、鳩、白鷺、

【吹雪】 有明、

【伊勢】 扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、

【大和】 嚴島、日潮、子日、若葉、

【朝風】 日卯月、菊月、水無月、長月、日追風、

【疾風】 潮生、夕風、日韓崎、駒橋、日潜一六、

【潜八】 潜九、潜一五、潜一七、日潜一〇、潜一一、

【潜一二】 日潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、

【水七〇】 水六七、水六八、水七一、膠州、

【椅子山丸】 硯海丸、歷山丸、板橋丸、

【霧島】 敷島、肥前、日叡、利根、千歳、

【沖島】 最上、嵯峨、日野分、松風、白雪、霞、日燕、

【蒼鷹】 鷹、鶴、猿橋丸、

【西戸】 關東、

【長】 鹿島、日香取、薩摩、日吾妻、日阿蘇、

【鶴】 日進、新高、見島、日千鳥、真鶴、日

【三笠】 日水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

【舞】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

【日】 日

0746

戸槍、樫(十六日「モルダ」發馬耳塞へ)

富士(十九日別府發奄美大島へ)

宇治(十九日蕪湖發)

須磨、初雪(十九日古倫母發新嘉坡へ)

伏見(十九日漢口發沙市へ)

隅田(二十日下關發漢口へ)

筑摩(二十日馬尼刺發佐世保へ)

白鷺(二十日横須賀發大島へ)

如月、初霜、神風、響(二十一日横須賀發根岸海へ)

勞山(二十一日打狗發佐世保へ)

鷲、鷲、雲雀、鶴(二十一日口ノ津發大牟田へ)

○雜款

○旗艦變更

第五戰隊司令官ハ一月十九日旗艦ヲ石見ヨリ朝日ニ變更セリ

○富士行動豫定中變更(一月十五日公報參照)

運用術練習艦富士行動豫定中佐世保發ノ二月十二日ヲ二月九日ニ變更セリ

○郵便物發送先

第十八驅逐隊司令部及朝霧宛

一月三十日迄ニ到着見込ノモノハ 佐世保 鎮海 其ノ後ハ

0747

(秘 外 部)

海軍公報第六百十一號附錄

懲罰言渡書

海軍公報第六百十一號附錄

大正七年一月二十一日(月)

海軍大臣官房

0748

(秘外部)

海軍公報

第一千六百十二號

海軍大臣官房

大正七年一月二十二日(火)

○艦船所在 指定ヲ要セス

○二月二十二日午前十時調

横須賀 山口城、河内、口金剛、棲名、生駒、周防、橋立、津輕、武藏、千早、若宮、
 時津風、天津風、磯風、濱風、巨桐、樺、巨白鷗、
 夕暮、夕立、三日月、巨曙、夕霧、霧雲、陽炎、鷹、
 巨山風、海風、櫻、橘、浦風、江風、不知火、
 薄雲、巨潜一三、潜一、潜二、巨鴨、雄、白鷹、
 高崎、栗橋丸、長浦丸、
 根岸 巨如月、初霜、神風、響、
 大 巨吹雪、有明、
 吳 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、
 平戸、明石、大和、嚴島、巨潮、子日、若葉、
 朝風、巨卯月、菊月、水無月、長月、巨追風、
 疾風、彌生、夕風、巨韓崎、駒橋、巨潜一六、
 潜八、潜九、潜一五、潜一七、巨潜一〇、潜一一、
 潜一二、巨潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、
 巨水七〇、水六七、水六八、水七一、劍崎、膠州、
 椅子山丸、視海丸、歷山丸、板橋丸、
 佐世保 霧島、敷島、肥前、比叡、利根、千歲、

西戸崎 關東、
 長崎 日向、
 三川 巨鶉、雲雀、鶴、
 古仁屋 富士、
 鎮海 鹿島、口香取、薩摩、巨吾妻、巨阿蘇、
 馬公 巨磐手、淺間、村雨、
 旅順 巨浦波、磯波、綾波、白銀丸、
 南洋群島 勝力、
 浦羅斯德 巨朝日、石見、青島、
 上海 巨千代田、
 重慶 鳥羽、
 油頭 秋津洲、
 ラブアン 志自岐、
 新嘉坡 巨八雲、矢矧、淀、
 彼南 巨初春、春風、
 沖島、最上、嵯峨、巨野分、松風、白雪、霞、巨朝霧、
 巨瀬、若鷹、雁、猿橋丸

海軍公報第一千六百十二號 大正七年一月二十二日

四七

0749

對馬
 春日、蒲州
 出雲、松江、杉、柏
 桃、柳
 機
 馬耳塞、松、檜、樅
 常磐
 常磐

航海中

時雨(九日新嘉坡發)尋堆へ)
 松江(十五日)トラスク「發内地へ」
 桂、楓(十六日坡西土發)タラントへ)
 梅、楠(十八日馬耳塞發)モルタへ)
 宇治(十九日燕湖發)
 須磨、初雪(十九日古倫母發)新嘉坡へ)
 伏見(十九日波口發)沙市へ)
 隅田(二十日下關發)漢口へ)
 筑摩(二十日馬尼刺發)佐世保へ)
 勞山(二十一日打狗發)佐世保へ)

0750

(秘外部)

海軍公報

第千六百十三號

海軍大臣官房

大正七年一月二十三日(水)

○令達

官房第二三九號

運送船高輪搭載ノ遺船材料物品並工業用機械ハ第一特務艦隊司令部附海軍主計少監高木道ヲ取扱主任トシテ處理セシムル義ト心得ヘシ

大正七年一月二十三日

海軍大臣 加藤友三郎

○通牒

官房第二四〇號

大正七年一月二十三日

海軍次官 柄内曾次郎

各艦長殿

從軍年加算ニ關スル件

運送船高輪ハ本月二十二日以後第一特務艦隊所在地ニ向ヒ最終ニ内國港灣出發ノ日ヨリ起算シ大正三年十一月十日陸海軍省告示第三項後段ニヨリ從軍年ヲ加算セララルモノトシ御取扱相成度

右通知ス

官房第二四一號

大正七年一月二十三日

海軍省副官 小林 躰造

第二特務艦隊所屬艦船准士官以上ヘノ私物

托送ニ關スル件

第二特務艦隊乘組准士官以上ニ對シ其ノ家族等ヨリ私物托送ノ便宜ヲ計ルタメ本月二十九日神戸發(二月一日門司發) 坡西土行汽船阿波丸便ニテ同隊ヘ赴任ノ中山海軍中佐ヘ右私物携行方依頼致置候條同隊所屬艦船乘組准士官以上ノ知己ヨリ該家族ヘ左記諸件ト共ニ此旨通知相成様致度

右申進ス

記

- 一、本托送ハ交代員ニ携行ヲ依頼スルモノナルニ付 容積重量大ナラサルモノナルコト
- 二、腐敗毀損シ易キ處ナキモノ
- 三、包裝ヲ堅固ニスルコト但シ油紙油布等ヲ用ヒサルコト
- 四、托送物ハ左記ノ如ク表記シ二月三十日迄ニ到着スル様差出スコト

海軍公報第千六百十三號

大正七年一月二十三日

四九

0751

門司港、汽船阿波丸
中山海軍中佐氣付
軍艦(驅逐艦)何々
何某宛

○辭令

海軍造兵大技士 松岡 俣躬
兵資調査會委員ヲ命ス(海軍省)

○艦船所在

印ハハホフ
指定ヲ要セス

○一月二十三日午前十時調

【横須賀】 口山城、口河内、口金剛、榛名、生駒、周防、橋立、津輕、武蔵、千早、若宮、口時津風、天津風、磯風、濱風、口如月、初霜、神風、霧、夕霧、夕暮、夕立、三日月、口曙、浦風、江風、不知火、霧雲、口山嵐、海風、櫻、橋、潜二、口白鷹、雄、高崎、栗橋丸、長浦丸

【大湊】 口吹雪、有明

【吳】 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、平戸、明石、大和、嚴島、口湖、子日、若葉、朝風、口卯月、菊月、水無月、長月、口韓崎、駒橋、口潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、口潜一〇、

【佐世保】 霧島、肥前、比叡、利根、千歲、沖島、最上、嵯峨、松風、口朝霧、口燕、蒼鷹、雁、鶴、猿橋丸

【長門】 日向

【大村】 口野分、白雪、靛

【舞鶴】 鹿島、口香取、薩摩、口香妻、口阿蘇、三笠、口日進、新高、見島、口千鳥、真鶴、口單、口水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

【海軍】 口磐手、淺間、村雨

【馬公】 口白雲、朝潮

【旅順】 口浦波、磯波、綾波、白銀丸

【南洋群島】 口朝日、石見、青島

【浦羅斯德】 島羽

【重慶】 秋津洲

【汕頭】 志自岐

【ラプアン】 口八雲、矢矧

【新嘉坡】 口初春

【新嘉坡】 春風

【彼南】 對馬

【ウラー角】 春日、滿州

【モルタ】 口出雲、口松、杉、柏

0752

ビロアス 榎
タラント 桂楓
馬耳塞 檜松
ホノルル 常磐

航海中

時雨(九日新嘉坡發「尋堆」)
梅、楠(十八日馬耳塞發「モルタ」)
宇治(十九日蕪湖發)
須磨、初雪(十九日古倫母發新嘉坡)
伏見(十九日漢口發沙市)
隅田(二十日下關發漢口)
筑摩(二十日馬尼刺發佐世保)
松江(二十日「サイパン」島發三見)
桃、柳(二十日「アレキサンドリア」發坡西土)
勞山(二十一日打狗發佐世保)
富士(二十二日古仁屋發中城灣)
關東(二十二日西戶崎發橫須賀)
千代田(二十二日上海發)
從(二十二日新嘉坡發彼南)
江勢、嵐、雲雀、鰯(二十三日三角發小島浦)
江追風、疾風、彌生、夕風(二十三日吳發廣島灣)

○雜款

○司令艇變更
第二艇隊司令ハ本月二十一日司令艇ヲ一時鴨ヨリ自應
ニ變更セリ

0753

(秘 外 部)

海軍公報

第一千六百十四號

海軍大臣官房

大正七年一月二十四日(未)

○通牒

經船第六四號

運送船備入ニ關シ決裁ヲ經テ左ノ通契約締結セリ

大正七年一月二十四日

海軍省經理局長 志佐 勝

運送船備入契約書

海軍省經理局長志佐勝ハ運送船トシテ汽船三池丸(載貨重量噸數四、三七〇噸)備入契約ヲ日本郵船株式會社社長近藤廉平トノ間ニ締結スルコト左ノ如シ

第一條 汽船三池丸ハ大正七年一月二十四日迄ニ横濱港ニ於テ積荷悉皆陸揚ヲ終リ航海準備ヲ整ヘ横須賀港ニ向ケ出航ノ日ヨリ使用スヘキニ付出發ノ時ハ其ノ旨ヲ海軍省經理局ニ報告シ監督官ノ指揮ヲ受クヘシ

第二條 汽船三池丸備入中ハ海軍ニ於テ任意ニ之ヲ使用シ而シテ其ノ進退物品ノ積載卸下ハ總テ監督官ノ指揮ヲ受クヘシ

第三條 汽船三池丸ノ使用期限ハ豫メ定メ難シト雖モ其ノ日數ヲ計算スルハ第一條ニ依リ初メテ使用シタ

海軍公報第一千六百十四號

大正七年一月二十四日

五三

ル日ヨリ海軍ノ役務ヲ終ヘタル日ヲ以テ限トシ其ノ間左ノ割合ヲ以テ使用料ヲ仕拂フヘシ

一箇月ノ使用料載貨重量噸數一噸ニ付金二十四圓五十錢

但シ端日數ハ其ノ月ノ現日數ニ依リ計算ス

第四條 前條使用料ノ外汽船三池丸航海用石炭用水及海軍ヨリ乘組タル人員ノ食物ハ現品又ハ代價ヲ以テ支給シ又特ニ命シテ別段ノ裝置ヲ爲シ若クハ艀船及人夫ヲ使用シタルトキハ其ノ費用ハ仕拂フヘシト雖モ其ノ他ノ諸費ハ總テ使用料ニ含有スルモノトス

但シ本文ノ石炭代價ハ監督官ノ證明ヲ得テ届出タル搭載數量ニ應シ實費ヲ以テ仕拂ヒ現食物ノ代價ハ供食數ニ應シ各自ヨリ之ヲ仕拂フ

第五條 特ニ海軍ニ於テ修理改造ヲ要シ若クハ海軍ニ於テ本船使用中受ケタル損害ニ對シ修理ヲ要スル場合ハ海軍ニ於テ之ヲ負擔ス使用上自然ノ破損ニ依リ若ハ船員ノ故意若ハ過失ニヨリ生シタル損害ニ對シ修理改造ヲ要スル場合ハ船主ニ於テ負擔スヘシ

第六條 船主ノ負擔ニ屬スル修理工事ノ爲メ海軍工廠ニ於テ入渠スルトキハ船主ニ於テ之カ工費材料費ノマラ支辨スヘシ此ノ場合ニ於テハ入渠料ヲ免除ス

0754

第七條 汽船三池丸備入期間ニ於テ船員ノ故意若ハ過失ニ依リ破損ヲ來シ修理ノ爲メ使用シ能ハサルコト十日間以上ニ及フトキハ十日間後ハ使用料ヲ支拂ハサルモノトス

第八條 汽船三池丸使用中戰時非常ニ際會シ敵兵又ハ暴徒ノ襲撃ヲ受ケ若ハ測量未済ノ場所ニ航海セシメタル等ニ依リ損害ヲ生シタルトキハ其事由ヲ查明シ相當ノ償金ヲ支拂フヘシ然レトモ船員ノ故意若ハ過失ニ依リ生シタル損害ハ此ノ限ニアラス

第九條 船長以下運轉手機關手等ノ要務ニ當ル者ハ技術ニ熟練シタルモノヲ要ス而シテ船員ハ外國人ノ在乗スルヲ許サズ又許可ヲ得ルニ非サレハ固有定員ヲ減スルコトヲ得ス

第十條 船長ハ本船固有ノ定員副書及現員名簿ヲ調製シ本船ノ監督官ヲ經テ海軍省經理局長ニ差出スヘシ爾後現員ニ乗退船死亡轉職等ノ異動アルトキハ其ノ都度監督官ヲ經テ之ヲ經理局長ニ届出ヘシ監督官缺員アルトキハ船長ヨリ直接ニ經理局長ニ差出シ又ハ届出ヘシ

第十一條 本船使用ノ爲特ニ船舶固有定員ヲ増加スルコトアルモ其人數少許ナルトキハ船主ニ於テ之カ費用ヲ負擔スヘシ若シ多數ノ増員ヲ要スルトキハ別ニ協定ス

第十二條 船主本契約ノ履行ヲ全フセザルトキハ海軍省經理局長ハ直ニ本契約ノ全部ヲ解除ス

第十三條 第三條ノ使用料及第四條ノ石炭代價ハ其ノ月分ヲ翌月以後ニ於テ代價請求書受領後十五日以内(關係書類不完全ニシテ訂正ヲ要スルモノハ其ノ訂正済ノ日ヨリ起算スルモノトス)ニ海軍省經理局ニ於テ仕拂フモノトス
右契約ノ確實ヲ證スル爲證書ニテ作リ當事者各自署名捺印シ各一ヲ保有スルモノナリ
大正七年一月十五日

海軍省經理局長 志佐 勝
日本郵船株式會社社長 近藤 廉平

○ 辭 令

海軍中將 土屋 光金
海軍大佐 岡田 三善
海軍中佐 古川 四郎
海軍少佐 和田 信房

(各通)

南洋群島占領地へ出張ヲ命ス(新海軍省)

○ 艦 船 所 在

▲印ハハホノ
指定ヲ要セス

○ 一月二十四日午前十時調

【横須賀】 口山城、口河内、口金剛、榛名、生駒、
周防、橋立、津輕、武藏、千早、若宮、
口時津風、天津風、磯風、濱風、口如月、初霜、神風、

0755

響、巨桐、樺、巨白露、夕暮、夕立、三日月、巨曙、
 夕霧、叢雲、陽炎、臘、巨山風、海風、櫻、橋、
 浦風、江風、不知火、薄雲、巨潜一三、潜一、潜二、
 巨白鷹、鷗、雉、鴻、高崎、栗橋丸、長浦丸
 大 湊 巨吹雪、有明
 吳 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、
 平戸、明石、大和、嚴島、巨潮、子日、若葉、
 朝風、巨卯月、菊月、水無月、長月、巨韓崎、駒橋、
 巨潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、巨潜一〇、
 潜一二、潜二二、巨潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、
 巨水七〇、水六七、水六八、水七一、劍崎、膠州、
 椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸
 江田 巨追風、疾風、彌生、夕風
 佐世 霧島、敷島、肥前、比叡、利根、千歲、
 沖島、最上、嵯峨、松風、巨朝霧、巨燕、蒼鷹、雁、
 鶴、猿橋丸
 長 崎 日向
 大 村 巨野分、白雪、歌
 中 飯 巨鶉、鶯、雲雀、鶴
 中 城 富士
 舞 鶴 鹿島、巨香取、薩摩、巨吾妻、巨阿蘇、
 三笠、日進、新高、見島、巨千鳥、真鶴、鶴、
 隼、巨水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸
 鎮 海 巨磐手、淺間、村雨
 馬 公 巨白雲、朝潮

旅 順 巨浦波、磯波、綾波、白銀丸
 南洋群島 勝力
 浦鹽斯德 巨朝日、石見
 重 慶 鳥羽
 汕 頭 秋津洲
 ラブアン 志自岐
 新嘉坡 巨八雲、矢矧
 彼 南 巨初春
 時雨
 對馬
 ウラー角 春日、滿州
 モルタ 巨出雲、梅、楠、巨松、杉、柏
 坡西土 桃、柳
 ビロアス 神
 タラント 巨桂、楓
 馬耳塞 巨檜、檜
 ホノルル 常磐
 航海中
 宇治(十九日蕪湖發)
 須磨、初雪(十九日古倫母發新嘉坡)
 伏見(十九日漢口發沙市)
 岡田(二十日下關發漢口)
 筑摩(二十日馬尼刺發佐世保)
 松江(二十日、サイパン、高發二見)

海軍公報第千六百十四號 大正七年一月二十四日

0756

勞山(二十一日打狗發佐世保へ)
春風(二十一日彼南發一尋堆へ)
關東(二十二日西戶崎發橫須賀へ)
千代田(二十二日上海發)
淀(二十二日新嘉坡發彼南へ)
青島(二十三日浦鹽發佐世保へ)

0757

(秘 外 部)

海軍公報

第一千六百十五號

海軍大臣官房

大正七年一月二十五日(金)

○艦船所在

▲印△ハホ七フ
指定ヲ要セズ

○一月二十五日午前十時調

【横須賀】 口山城、口河内、口金剛、榛名、生駒、

周防、橋立、津輕、武蔵、千早、若宮、

口時津風、天津風、磯風、濱風、口如月、初霜、神風、

響、口桐、樺、口白露、夕暮、夕立、三日月、口曙、

夕霧、霧雲、陽炎、隼、口山風、海風、櫻、橋、

浦風、江風、不知火、薄雲、口潛一三、潛一、潛二、

口白鷗、鳴、雄、鴻、關東、栗橋丸、長浦丸

【大 湊】 口吹雪、有明

【一 吳】 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、

平戸、明石、大和、嚴島、口潮、子日、若葉、

朝風、口卯月、菊月、水無月、長月、口韓崎、駒橋、

口潛一六、潛八、潛九、潛一五、潛一七、口潛一〇、

潛一一、潛一二、口潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、

口水七〇、水六七、水六八、水七一、劍崎、膠州、

椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸

【佐 世 保】 霧島、敷島、肥前、比叡、利根、千歲、

沖島、最上、嵯峨、口野分、松風、白雪、叢、口朝霧、

口燕、蒼鷹、雁、鶴、口鷲、鷲、雲雀、鶴、猿橋丸

【長 崎】 日向

【中 城】 富士

【舞 鶴】 鹿島、口香取、薩摩、吾妻、口阿蘇、

三笠、日進、新高、見島、口千鳥、真鶴、鶴

隼、口水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

【鐵 海】 村雨

【馬 公】 口白雲、朝潮

【旅 順】 口浦波、磯波、綾波、白銀丸

【南洋群島】 勝力、花咲丸

【浦羅斯德】 口朝日、石見、上川丸

【龍 潭 司】 口千代田

【重 慶】 鳥羽

【汕 頭】 秋津洲

【ラフアン】 志自岐

【新 嘉 坡】 口八雲、矢矧

【スウイトレンヘム】 口初春

【彼 南】 淀、時雨

【タイロスマン】 對馬

【ウラー角】 春日、滿州

【モルタ】 口出雲、梅、楠、口松、杉、柏

【坡 西 土】 桃、柳

海軍公報第一千六百十五號

大正七年一月二十五日

五七

0758

ビロアス 餅
タラント 口桂、楓
馬耳塞 口檜、櫻
ホノルル 常磐

航海中

秋田丸(十四日「トラック」發「シドニー」へ)
宇治(十九日「蕪湖」發)
須磨、初雪(十九日古倫母發新嘉坡へ)
伏見(十九日漢口發沙市へ)
隅田(二十日下關發漢口へ)
筑摩(二十日馬尼刺發佐世保へ)
勞山(二十一日打狗發佐世保へ)
春風(二十一日彼南發一尋堆へ)
青島(二十三日浦鹽發佐世保へ)
松江(二十四日二見發橫須賀へ)
高崎(二十五日橫須賀發吳へ)
追風、疾風、彌生、夕嵐(二十五日江田島發廣島灣へ)
磐手、淺間(二十五日鎮海發釜山へ)

雜款

○將旗撤去
第三水雷戰隊司令官、今二十五日旗艦吾妻ノ將旗ヲ撤セリ

○吾妻出航豫定
本艦三十一日舞鶴發佐世保ヲ經テ任地ニ向フ便乗ノ兵員ハ舞鶴ハ三十日正午、佐世保ハ二月二日午前九時迄ニ乘艦セシメラレタシ、郵便物ハ三十一日迄ニ到着見込ノモノハ舞鶴へ、二月二日迄ノモノハ佐世保宛ノコト(時吾妻艦長電報)

○筑摩歸著豫定
軍艦筑摩二十六日午前八時頃佐世保到着ノ豫定(時佐鎮副官電報)

○郵便物發送先
第九艇除宛
本日以後ハ 佐世保

第二水雷戰隊司令部宛
本日以後 吳 軍艦平戸

0759

(秘 外 部)

海軍公報第千六百十五號附錄

大正七年一月二十五日(金)
海軍大臣官房

○職工解備

海軍造兵廠ニ於テ昨六年十二月中解備セル職工左ノ如シ

解備日	事 由	職 名	氏 名	生 年 月 日
三 日	工務規則第二十八條第十二項	臨時機工		明治 二八、六、二八
全	誓約違反	機工見習工		三三、八、一〇
全		電氣工見習工		三六、一、二七
全	工務規則第二十八條第十一項	圖 工		三三、九、一一
四 日	第六項	臨時雜工		一九、一、三〇
全		臨時機工		三一、四、二
五 日		鍛 工		二四、五、二九
全		全		二一、八、三〇
全		臨時鍛工		二二、二、二五
八 日	全	臨時雜工		三三、二、五

海軍公報第千六百十五號附錄

0760

九日	全		臨時鍛工	三一、八、一五
十日	誓約違反		機工見習工	三三、一〇、一七
全	工務規則第二十八條第七項		臨時仕上工	二〇、八、二一
十二日	全	第六項	臨時雜工	三一、一、六
全	全		全	二一、七、二五
全	誓約違反		仕上工見習工	三四、六、二七
十四日	工務規則第二十八條第八項		臨時電氣工	三三、二、二八
十六日	全		臨時仕上工	三一、二、一五
十七日	全	第十二項	臨時機工	一三、七、三
全	全	第七項	全	一九、一、一〇
全	全		全	三一、八、九
全	全	第十二項	全	三二、七、二六
全	全	第六項	臨時雜工	三二、四、二二
十八日	誓約違反		仕上工見習工	三四、一、一七
二十日	工務規則第二十八條第十二項		雜工	一六、四、二三

0761

二十九日	二十六日	全	全	全	全	全	二十四日	二十二日	二十一日	全	全	二十日
工務規則第二十八條第八項	誓約違反	全	全	全	全	全	第六項	第十二項	第八項	全	全	第六項
見習電氣工	機工見習工	全	全	全	全	全	臨時雜工	臨時檢查工	臨時檢查工	全	臨時雜工	臨時製鐵工
三三、二二、五	三五、八、一	二七、九、二七	二九、一一、二九	二六、一、二六	二三、八、一〇	二五、一一、三	三一、一〇、二	二三、三、一五	三一、五、四	一八、五、一八	二五、二、一	

0762

(秘 外 部)

海軍公報

第千六百十六號

大正七年一月二十六日(土)

海軍大臣官房

○通 牒

官房機密第一一八號ノ二

大正七年一月二十六日

海軍次官 柄内曾次郎

關係各所屬長官殿

危險海面航行商船ノ航海燈ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通遞信次官ニ申進置候條御了知相成度

右申進ス

(別紙)

官房機密第一一八號

大正七年一月二十五日

海軍次官

遞信次官宛

危險海面航行商船ノ航海燈ニ關スル件

本件ニ關シ別紙ノ通在英大使館附武官ヨリ報告有之候ニ付テハ帝國商船ニシテ危險海面航行ノモノニ對シテモ相當注意方可能御取計相成度
右申進ス

海軍公報第千六百十六號

大正七年一月二十六日

五九

(別紙)

今回英國海軍ハ商船ノ夜中敵潜水艇ノ攻撃ヲ受クルハ主トシテ航海燈ノ光力過大ナルニアリトシ之ニ關シ法令發布セラルル迄差當リ成ルヘク速ニ左ノ通航海燈ノ光力ヲ減少セシメ各船主ニ注意セリ

一、橋頭

(イ)二、二分ノ一燭力ヲ超過セサルコト

(ロ)屈折外硝子ヲ磨硝子ニ替へ尙ホ反射鏡ヲ取除クコト

二、舷燈

(イ)八燭力ヲ超過セサルコト

(ロ)晴天若クハ特令ノ場合ニハ五燭力ノモノヲ使用スルコト

(ハ)屈折外硝子ヲ磨硝子ニ替へ尙反射鏡ヲ取除クコト

三、艦尾燈ハ危險區域外ニ於ケル護送船隊内ノ外ハ艦尾燈ヲ使用セス

右當地郵船支店ニ通知済

○ 辭 令

(各通)

蘭領印度へ出張ヲ命ス(七回海軍省)

○艦船所在

△印(ハルホー) 指定ヲ要セス

海軍技手 小畑仙次郎

全 蛭田鐵五郎

全 藤倉鐵五郎

全 小林勝

○二月二十六日午前十時調

横須賀 口山城、口河内、口金剛、榛名、生駒、

周防、橋立、津輕、武藏、千早、若宮、

口時津風、天津風、磯風、濱風、口如月、初霜、神風、

響、口桐、樺、口白雲、夕暮、夕立、三日月、口曙、

夕霧、叢雲、陽炎、龍、口山風、海風、櫻、橋、

浦風、江風、不知火、薄雲、口潛一三、潛一、潛二、

口白鷺、鷓、鴻、關東、栗橋丸、長浦丸、三池丸、

大 口吹雪、有明

吳 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、

平戸、明石、大和、嚴島、口潮、子日、若葉、

朝風、口卯月、菊月、水無月、長月、口追風、疾風、

彌生、夕風、口韓崎、駒橋、口潛一六、潛八、潛九、

潛一五、潛一七、口潛一〇、潛一一、潛一二、

口潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、口水七〇、水六七、

水六八、水七一、膠州、椅子山丸、硯海丸、

歷山丸、板橋丸

佐世保 霧島、肥前、比叡、利根、千歲、

沖島、最上、嵯峨、口野分、松風、白雲、叢、口朝霧、

口蕨、蒼鷹、雁、口鶉、鷲、雲雀、鶴、勞山、猿橋丸

長崎 日向

中城 富士

舞鶴 鹿島、口香取、薩摩、吾妻、口阿蘇、

三笠、日進、新高、見島、口千鳥、真鶴、鶴、

隼、口水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

鎮海 村雨

釜山 磐手、淺間

釜山 口白雲、朝潮

馬公 口浦波、磯波、綾波、白銀丸

旅順 口勝力、花咲丸

南洋群島 口朝日、石見、上川丸

浦鹽斯德 口千代田

南 京

淡 宇治

沙 伏見

重 鳥羽

油 秋津洲

ラブアン 志自岐

新嘉坡 矢矧

彼 口初春

南 淀、時雨

對馬

ワラ角 口八雲、春日、蒲州

0764

モルタ 出雲、松、杉
 ビロアス 櫛
 タラント 桂、楓
 馬耳塞 檜、櫻
 ホノルル 常磐

航海中

秋田丸(十四日)「トラック」發「シドニー」へ
 須磨、初雪(十九日)古倫母發新嘉坡へ
 隅田(二十日)下關發漢口へ
 筑摩(二十日)馬尼刺發佐世保へ
 春風(二十一日)彼南發一尋堆へ
 桃、柳(二十二日)坡西土發「モルタ」へ
 柏(二十三日)「モルタ」發「タラント」へ
 梅、楠(二十三日)「モルタ」發「アレキサンドリア」へ
 青島(二十三日)浦鹽發佐世保へ
 松江(二十四日)二見發橫須賀へ
 高崎(二十五日)橫須賀發吳へ
 劍崎(二十六日)吳發佐世保へ

○雜款

○工作船關東第十八回行動豫定變更(一月七日)
 地名 着 發
 橫須賀 一月三十日

西戶崎 二月 二日 二月 八日
 橫須賀 二月 十一日

○運送船劍崎第一回行動豫定中變更(十二月二十八日)
 地名 着 發

吳 一月 二十六日
 佐世保 一月 二十八日 一月 三十日
 吳 二月 一日

○汽船阿波丸九行動豫定變更(一月十六日)
 地名 着 發

神戶 一月 三十日 一月 二十九日
 門司 二月 三日 二月 一日
 上海 二月 十三日 二月 四日
 新嘉坡 二月 二十日 二月 十四日
 古倫母 二月 二十日 二月 二十一日
 蘇士 三月 六日 三月 六日
 坡西土 三月 七日 三月 十七日
 孟買 三月 二十九日 三月 十七日
 新嘉坡 四月 十四日 四月 十五日
 神戶 四月 二十六日

海軍公報第千六百十六號 大正七年二月二十六日

0765

(秘 外 部)

海軍公報

第千六百十七號

海軍大臣官房

大正七年一月二十八日(月)

○ 令 達

官房機密第一三六號

大正六年官房機密第一九一號中「銃座」ノ項ヲ削ル

大正七年一月二十六日

海軍大臣 加藤友三郎

参照 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍臨時給與規則第六條ノ付
替支給ノ件ナリ

官房第二九八號

大正四年十二月官房第三八二五號中「軍艦銃座」「軍艦

松江」ヲ削ル

本令ハ大正七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年一月二十八日

海軍大臣 加藤友三郎

参照 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍費ヲ以テ總費ヲ
支辨スヘキ各部ノ件ナリ

○ 通 牒

海軍公報第千六百十七號

大正七年一月二十八日

六三

官房第三〇〇號

大正七年一月二十八日

海軍次官 枡内曾次郎

各廳長殿

從軍年加算ニ關スル件

軍艦吾妻ハ本月二十四日以後任地ニ向ヒ最終ニ内國港
灣出發ノ日ヨリ起算シ大正三年十一月十日陸海軍省告
示第二項後段ニ依リ從軍年ヲ加算セラルルモノトシ御
取扱相成度
右通知ス

官房第三〇一號

運送船高崎ト内地郵便局間ニ郵便物附載交換開始相成
候條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成度

大正七年一月二十八日

海軍省副官 小林 躰造

記

一、信書肩書ハ「長崎郵便局氣付」トスルコト

一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト

一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

○艦船所在

▲印ハ「ハカ」ヲ
指定ナラズ

○二月二十八日午前十時開

横須賀 巨山城、河内、白金剛、榛名、生駒、

周防、橋立、松江、武蔵、千早、若宮、時津風、

天津風、磯風、濱風、如月、初霜、神風、響

桐、白雲、夕暮、夕立、三日月、曙、夕霧、

霧雲、陽炎、朧、山風、海風、櫻、浦風、

江風、不知火、薄雲、潜一三、潜一、潜二、

白鷹、雉、瀧、關東、栗橋丸、長浦丸、三池丸

津輕

大 浪 吹雪、有明

吳 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、

平戸、明石、大和、殿島、潮、子日、若葉、

朝風、卯月、菊月、水無月、長月、追風、疾風、

彌生、夕風、韓崎、駒橋、潜一六、潜八、潜九、

潜一五、潜一七、潜一〇、潜一一、潜一二、

潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、水七〇、水六七、

水六八、水七一、膠州、高崎、椅子山丸、硯海丸、

歴山丸、板橋丸

佐世保 霧島、敷島、肥前、比叡、利根、千歳、

沖島、最上、嵯峨、野分、松風、白雲、霞、

蒼鷹、雁、鶴、鷲、雲雀、鶴、青島、勞山、

猿橋丸

長 崎 日向

大村灣 巨朝霧
鶴 鹿島、薩摩、吾妻、阿波、三笠、
日蓮、新高、見島、千島、真鶴、鶴、華、
巨水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

鎮 海 村雨
巨白雲、朝潮

馬 公 浦波、磯波、綾波、白銀丸

旅 順 勝力、花咲丸

南洋群島 朝日、石見、上川丸

浦鹽斯德 千代田

南 京 宇治

漢 市 伏見

沙 市 鳥羽

重 慶 秋津洲

油 頭 志自岐

新嘉坡 矢矧、須磨、滿州、初雪

彼 南 淀、時雨

ウラー角 對馬

モルタ 八雲、春日

ピロアス 山雲、巨松、杉

タラント 榎、楓、柏

馬耳塞 巨檜、檜

ホノルル 常磐

0767

航海中

秋田丸(十四日)「トラック」發「シドニー」へ)
關田(二十日)下關發漢口へ)
春風(二十一日)彼南發一尋堆へ)
桃、柳(二十二日)坂西土發「モルタ」へ)
梅、楠(二十三日)「モルタ」發「アレキサンドリア」へ)
劍崎(二十六日)吳發佐世保へ)
富士(二十七日)中城灣發佐世保へ)
磐手、淺間(二十八日)別府發大阪へ)
口香取(二十八日)舞鶴發宮津へ)
筑摩(二十八日)佐世保發舞鶴へ)

○雜款

○旗艦指定
第二水雷戰隊司令官ハ一昨二十六日旗艦ヲ平戸ニ指定セリ

○郵便物發送先
第一艦隊司令部、第二戰隊司令部、山城、扶桑、河内、攝津宛

二月 二日迄ニ到着見込ノモノハ從前ノ通
二月 八日同 鹿兒島
二月 十二日同 鹿兒島縣古仁屋
二月 十六日同 沖繩縣中城灣

二月二十二日同
二月二十五日同
其ノ後ハ

臺灣打狗
澎湖島馬公
佐世保郵便局留置

軍艦津輕宛

二月四日迄ニ到着見込ノモノハ
其ノ後ハ

葉山
横須賀

軍艦筑摩宛

本日以後

新舞鶴

○正誤

一昨二十六日雜款中汽船阿波丸ハ汽船阿波丸ノ誤

0768

(秘 外 部)

海軍公報

第千六百十八號

大正七年一月二十九日(火)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一四〇號
大正六年官房機密第一九一號中「滿州」ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

高 崎

大正七年一月二十九日

海軍大臣 加藤友三郎

參照 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍臨時陸軍部第六條ノ增
修正給ノ件ナリ

官房第三三三號

大正七年一月二十九日



軍艦松江ニ設置ノ第三海軍軍用郵便所
軍港務部ニ移ス

大正七年一月二十九日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第三三三號

大正四年十二月官房第三八二五號中「運送船青島」ノ次
ニ「運送船高崎」ヲ加フ

本令ハ大正七年一月二十二日ヨリ之ヲ施行ス

海軍公報第千六百十八號

大正七年一月二十九日

六七

大正七年一月二十九日

海軍大臣 加藤友三郎

參照 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍港ヲ以テ經費ヲ
支辨スヘキ各都ノ件ナリ

○通 牒

官房第三三四號

大正七年一月二十九日

軍艦吾妻ト内地郵便局間ニ郵便物閉發交換開始相成候
條本邦ヨリ發送ノ郵便物ハ左記ノ通御取計相成度

大正七年一月二十九日

海軍省副官 小林 麟造

記

一、信書肩書ハ「長崎郵便局氣付」トスルコト

一、宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト

一、料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

○艦 船 所 在

▲印ハ「ハ」ホリ
指定ヲ要セス

○一月二十九日午前十時調

0769

【横須賀】

山口城、河内、金剛、榛名、生駒、周坊、橋立、松江、武蔵、千早、若宮、時津風、天津風、磯風、濱風、如月、初霜、神風、響、桐、椿、白露、夕暮、夕立、三日月、曙、夕霧、霧雲、陽炎、隴、山風、海風、櫻、橋、浦風、江風、不知火、薄雲、潜一三、潜一、潜二、白鷹、鷗、雄、鴻、關東、栗橋丸、長浦丸、三池丸

【大津】

吹雪、有明、伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、平戸、明石、大和、殿島、潮、子日、若葉、朝風、卯月、菊月、水無月、長月、追風、疾風、彌生、夕風、轉崎、駒橋、潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、潜一〇、潜一一、潜一二、潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、水七〇、水六七、水六八、水七一、膠州、高崎、椅子山丸、視海丸、歴山丸、板橋丸

【佐世保】

霧島、肥前、比叡、利根、沖島、最上、嵯峨、野分、松風、白雪、霧、朝霧、蒼鷹、雁、鶴、劍崎、青島、勞山、猿橋丸

【長門】

日向、鶴、鷲、雲雀、鶴、鹿島、薩摩、吾妻、阿蘇、三笠、日進、新高、見島、千鳥、真鶴、鶴、隼、水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

【宮津】

口香取

【鎮海】

村雨、朝潮、白雲、浦波、磯波、綾波、白銀丸、旅、順、南洋群島、勝力、花咲丸、浦蘆斯德、朝日、石見、上川丸、南、京、千代田、淡、口、宇治、沙、市、伏見、重、慶、鳥羽、汕、頭、秋津洲、ラプアン、志自岐、新嘉坡、矢矧、須磨、滿州、初雪、彼、南、淀、ウラー角、對馬、モルタ、八雲、春日、ピロアス、出雲、松、杉、桃、柳

【航海中】

秋田丸(十四日「ドラック」發「シドニー」へ)、
隅田(二十日下關發漢口へ)、
春風(二十一日彼南發「尋堆」へ)、
梅、楠(二十三日「モルタ」發「アレキサンドリア」へ)

0770

日槍、櫻(二十六日馬耳塞發「モルタ」へ)
 日桂、楓、柏(二十六日「タラント」發「アレキサンドリ
 ア」へ)
 常磐(二十七日「ホノルル」發)
 時雨(二十七日彼南發哨區へ)
 富士(二十七日中城灣發佐世保へ)
 磐手、淺間(二十八日別府發大阪へ)
 筑摩(二十八日佐世保發舞鶴へ)
 千歲(二十八日佐世保發釜山へ)

○雜款

○特設運送船三池丸第一回行動豫定

地名	着	發
横須賀		二月 三日
吳	二月 六日	二月 八日
佐世保	二月 十日	二月 十三日
舞鶴	二月 十五日	二月 十七日
鎮海	二月 十九日	二月 二十日
旅順	二月 二十三日	二月 二十四日
青島	二月 二十六日	二月 二十七日
佐世保	三月 二日	三月 五日
馬公	三月 九日	三月 十日
打狗	三月 十日	三月 十一日
佐世保	三月 十五日	

○郵便物發送先
 第三水雷戰隊司令部並軍艦阿蘇宛
 二月二日迄ニ到達見込ノモノハ
 其ノ後ハ
 第三艦隊司令部並軍艦香取、肥前宛
 二月一日迄ニ到達見込ノモノハ
 但シ肥前宛ノモノハ二月二日迄
 二月九日迄ニ到達見込ノモノハ
 其ノ後ハ
 舞鶴
 佐世保
 新舞鶴
 佐世保
 鎮海
 佐世保

(秘 外 部)

海軍公報

第千六百十九號

大正七年一月三十日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三四二號

標的船 山 彦 丸

右横須賀海軍港務部附屬ヲ解キ吳海軍港務部附屬トス

大正七年一月三十日

海軍大臣 加藤友三郎

官房第三四三號

左記還納汽艇ヲ雜役船ニ編入シ其ノ所屬、公稱番號左ノ通定ム

大正七年一月三十日

海軍大臣 加藤友三郎

公稱番號	所 屬	種 類	記 事
第四二四號	横須賀海軍航空隊	汽 艇	横須賀海軍港務部保管
第四二五號	横須賀海軍事務部	右 同	横須賀海軍港務部保管
大正七年官房第七六號表中第二二七二號ノ項記事ノ欄二三「 <small>ヲ</small> 」ヲ「 <small>ニ</small> 」ニ改ム			

海軍公報第千六百十九號

大正七年一月三十日

參照 大正七年一月十一日部外秘海軍公報第千六百三號

○艦船所在

▲印ハ(ホ)ノ指定ヲ與セズ

○二月三十日午前十時調

横須賀 ▲山口城 ▲河内、口金剛 ▲榛名、生駒、周防 ▲橋立、松江、武藏 ▲千早、若宮 ▲時津風、天津風、磯風、濱風、巨如月、初霜、神風、響、巨桐、樺、巨白露、夕暮、夕立、三月月、巨曙、夕霧、霞雲、陽炎、朧、巨山風 ▲海風 ▲櫻 ▲橘 ▲浦風、江風、不知火、霧雲、巨潛一三、潛一、潛二、巨白鷹、鷗、雄、關東、栗橋丸、長浦丸、三池丸

山 ▲津輕

大 ▲吹雪 ▲有明

吳 ▲伊勢 ▲扶桑、安藝、攝津、鞍馬 ▲伊吹 ▲平戸 ▲明石 ▲大和、嚴島、巨潮、子日、若葉、朝風、巨卯月、菊月、水無月、長月、巨追風、疾風、彌生、夕風、巨韓崎、駒橋、巨潛一六、潛八、潛九、潛一五、潛一七、巨潛一〇、潛一一、潛一二、巨潛三、潛四、潛五、潛六、潛七、巨水七〇、水六七、水六八、水七一、膠州 ▲椅子山丸 ▲硯海丸

0772

大 歷山丸、板橋丸
 佐世 阪 〓 磐手、淺間
 霧島、敷島、肥前、比叡、利根、富士
 沖島、最上、嵯峨、〓 朝霧、〓 燕、蒼鷹、雁、鶴、
 鷺、雲雀、鶴、劍崎、青島、猿橋丸
 彼 柁 〓 野分、松風、白雪、靛
 長 鶴 〓 日向、〓 鶴
 鹿島、薩摩、〓 吾妻、〓 阿蘇、三笠、
 日進、新高、見島、〓 千鳥、眞鶴、鶴、隼、
 〓 水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸
 鎮 海 〓 村雨
 馬 公 〓 朝潮
 打 狗 〓 白雲
 〓 油波、磯波、綾波、白銀丸
 旅 順 〓 勝力、花咲丸
 南洋群島 〓 朝日、石見、上川丸
 浦鹽斯德 〓 千代田
 南 京 〓 宇治
 漢 口 〓 伏見
 沙 市 〓 鳥羽
 重 慶 〓 秋津洲
 汕 頭 〓 志白岐
 ランアン 〓 矢矧、須磨、初雪
 新嘉坡 〓 淀、〓 初春
 彼 南 〓 對馬

航海中
 秋田丸(十四日)「トラツク」發「シドニー」へ
 隅田(二十日)下關發漢口へ
 春風(二十一日)彼南發一尋堆へ
 梅、楠(二十二日)「モルタ」發「アレキサンドリア」へ
 〓 檜、〓 樺(二十六日)馬耳塞發「モルタ」へ
 〓 桂、〓 楓、〓 柏(二十六日)「タラント」發「アレキサンドリア」へ
 常磐(二十七日)「ホノルル」發
 時雨(二十七日)彼南發哨區へ
 筑摩(二十八日)佐世保發舞鶴へ
 滿州(二十九日)新嘉坡發「バンカ」海峽へ
 高崎(二十九日)吳發「ウラー」角へ
 勞山(二十九日)佐世保發門司へ
 〓 香取(三十日)宮津發舞鶴へ
 千歲(三十日)釜山發鎮海へ

0773

(秘 外 部)

海軍公報

第千六百二十號

大正七年一月三十一日(木)
海軍大臣官房

○艦船所在

指定ヲ要セス

○一月三十一日午前十時調

横須賀 山口城、河内、口金剛、榛名、生駒、

周防、橋立、松江、武藏、千早、若宮、時津風、

天津風、磯風、濱風、如月、初霜、神風、響、

白雲、陽炎、龍、山風、海風、櫻、橘、浦風、

江風、不知火、薄雲、潜一三、潜一、潜二、

白鷹、鷗、雄、栗橋丸、長浦丸、三浦丸

山 津輕

大 津 吹雪、有明

吳 伊勢、扶桑、安藝、攝津、鞍馬、伊吹、

平戸、明石、大和、嚴島、潮、子日、若葉、

朝風、卯月、菊月、水無月、長月、追風、疾風、

彌生、夕風、韓崎、駒橋、潜一六、潜八、潜九、

潜一五、潜一七、潜一〇、潜一一、潜一二、

潜三、潜四、潜五、潜六、潜七、水七〇、水六七、

水六八、水七一、膠州、椅子山丸、硯海丸、

歷山丸、板橋丸

大 阪 磐手、淺間

門 司

勞山

霧島、敷島、肥前、比叡、利根、富士、

沖島、最上、薩岬、野分、松風、白雪、霞、

蒼鷹、雁、鷲、雲雀、鶴、青島、猿橋丸

日向、白鷺

鶴 口香取、鹿島、薩摩、吾妻、阿蘇、三笠、

日進、筑摩、新高、見島、千島、真鶴、鶴、

水七三、水七二、水七四、水七五、淀橋丸

海 千歲、村雨

馬 公 朝潮

打 狗 白雲

旅 順 浦波、磯波、綾波、白銀丸

南洋群島 勝力、花咲丸

浦鹽斯德 朝日、石見、上川丸

南 京 千代田

漢 口 宇治

沙 市 伏見

重 慶 鳥羽

汕 頭 秋津洲

ラプアン 志自岐

新嘉坡 矢矧、須磨、初雪

海軍公報第千六百二十號 大正七年一月三十一日

0774

彼 南 口初春

ウラー角 對馬

モルタ 春日、滿州

ピロアス 機 山雲、松、杉、柏、檜、桃、柳

航海中

秋田丸(十四日)「トラック」發「シドニー」へ)

隅田(二十日)下關發漢口へ)

春風(二十一日)彼南發一尋堆へ)

桂、楓、柏(二十六日)「タラント」發「アレキサンドリア」へ)

常磐(二十七日)「ホノルル」發)

時雨(二十七日)彼南發哨區へ)

高崎(二十九日)吳發「ウラー」角へ)

梅、楠(二十九日)彼西土發「タラント」へ)

劍崎(三十日)佐世保發吳へ)

關東(三十日)横須賀發)

八雲(三十日)「ウラー」角發新嘉坡へ)

淀(三十日)彼南發「サバン」沖へ)

朝霧(三十一日)佐世保發鎮海へ)

○ 雜 款

○郵便物發送先

工作船關東宛

二月八日迄ニ到達見込ノモノハ

其ノ後ハ

福岡縣西戸崎

横須賀

0775